



真剣な表情でアドバイスを聞く
酒井さん（左）と井上さん

「若手が会社を創っていく」

大通 新入社員による取り組み発表会実施

【大阪】「最終的に判断するのは私だが、社員が引っ張っていく会社づくりを進めている。若手がこの会社を創っていく」と語るのは、大通（柏原市）の松本望社長。多くの若手社員が活躍する同社は毎年、新卒を積極的に採用しており、今年は大卒に加えて、同社初となる高卒の新入社員が入社した。

今年の新卒社員2人（井上聖一さんと酒井燎さん）は3月21日の入社後、約1か月間かけて本社（倉庫業務）及び八尾営業

所（配車の事務業務）を回って研修。そして5月1日には、「5Sからの生産性向上と品質向上」をテーマに、新入社員による取り組み発表会が行われた。

松本社長をはじめ各営業所長らを前にして、やや緊張した面持ちの2人は、研修期間に学んだこと、新人ならではの気付き、これからの目標などを力強く発表。「5Sにより作業のムダが減り、時間短縮、生産性向上、事故件数の減少につながると実感した」などと感想を述べた。

その後、松本社長ら出席者による質疑応答やアドバイス、激励などがあり、最後に2人の配属先が発表された。

発表会后、2人に入社のきっかけをたずねると、井上さんは、「物流は、経済活動の中で欠かせない役割となっている。将来性もあると思い志望した。毎日学ぶことが多くて充実している」と話し、「家族と離れて暮らすことになったので心配かけているが、応援してくれているので自立できるよう頑張りたい」と語った。酒井さんは「高校時代に小型フォークリフトの資格を取っていたこともあり物流業界に興味を持った。いまは、作業が終わったあとの達成感が励みになる」と述べ、「家族は、やりたいようにやったらいいと見守ってくれている。物流業界は体力も使うので体を鍛えておくようにとアドバイスも受けた」と目を輝かせた。

「プラスアルファ」の意識を

松本社長は、「発表会を開くにあたって、『作業プラスアルファの取り組みをさせるように』と管理者に伝えた。単に作業をするだけでなく、『ラインシールを引き直した』『道具を見やすく整理した』などの取り組みにより、どういった効果が生

まれるのか。生産性向上と品質向上を意識して、『こういう効果が生まれ、こういう結果につながる』と新入社員に考えさせるのが目的であると同時に、各事業所の責任者が、きちんと指導できているかを見ることもでき、管理者の一層のレベルアップにもつながる」と述べた。

また、「高卒の新卒採用は初めての取り組みで、こちらも慎重になっている。酒井君には経験を積み知識を身につけ、4年後、大卒で入ってくる者よりも高い給料をもらえるよう、頑張ってもらいたい。井上君も今回の研修の経験を生かして、早く一人前になってもらいたい。2人とも我々が全力でサポートする」と激励し、2人の活躍を願った。（中野秀一）